

保育園のしおり

ダイジェスト版



北区立西ヶ原東保育園

指定管理者社会福祉法人東萌会

〒114-0024 北区西ヶ原3-19-11

TEL 03-3918-8251

FAX 03-3918-8259

【留守番専用電話】TEL 03-6903-5723（24時間受付可）

【ホームページアドレス】<http://www.tohokai.or.jp/nishigaharahigashihoikuen/>

【メールアドレス】nishigaharahigashi@bz03.plala.or.jp

【施設概要】

《設 置》	北区
《運 営》	社会福祉法人東萌会(指定管理者)
《理 事 長》	小池 康治
《園 長》	有留 ふみ子
《名 称》	北区立西ヶ原東保育園 敷地面積 695.20 平方メートル 建物面積 520.40 平方メートル
《構 造》	鉄筋コンクリート造2階建
《開設年月日》	昭和50年4月1日
《指定管理受託開始年月日》	平成21年4月1日
《住 所》	〒114-0024 北区西ヶ原3丁目19番11号
《電話・FAX》	保育園 電話 03-3918-8251 FAX 03-3918-8259
《定 員》	合計103名
《年齢別定員》	0歳児(もも組) 生後8ヶ月～ 11名(生後8ヶ月～) 1歳児(さくらんぼ組) 13名 2歳児(りんご組) 13名 3歳児(ばなな組) 22名 4歳児(ばいナップ組) 22名 5歳児(やし組) 22名
《開 所 時 間》	7:15～20:15 (2時間延長保育18:16～20:15)
《実 施 事 業》	11時間開所保育、年末特別保育(12月29日～31日)、休日保育(日・祝) 特別支援児保育、0歳児保育(生後8カ月のお子様から)、一時保育、子育て支援

【保育理念】

《保 育 の 理 念》	○ひとりひとりの子どもが人間形成の基礎を培えるよう支えます ○それぞれの家庭に合わせてやさしく子育てを支えます
《保育の基本方針》	○子どもが楽しく過ごせる保育園 ○安心して子どもを託せる保育園
《保 育 の 目 標》	○こころもからだも健やかな子どもに 情育・知育・意育・体育

【保育の内容】

◎行事

4月	入園式・保護者懇談会・子どもの日の会	10月	運動会・芋掘り遠足(5歳児)
5月	入園1ヶ月後面談・5歳児遠足・姉妹園交流会	11月	勤労感謝の日の警察署・消防署訪問 5園交流会・4歳児遠足・表現発表会(乳児) はしりっこ大会
6月	虫歯予防デー・個人面談・水遊び開き・お泊り保育	12月	クリスマス会・表現発表会(幼児)・もちつき会
7月	七夕の会・しゃぼん玉祭り お店屋さんごっこ	1月	新年お楽しみ会
8月	藍染体験	2月	節分の会・姉妹園交流会・保護者懇談会・在園児説明会・5歳児お別れ遠足
9月	水遊び終わり・西ヶ原東まつり・敬老の日 お手紙投函・おじいちゃんおばあちゃんと遊ぶ会	3月	ひな祭りの会・卒園式・お別れ会 入園説明会・進級式・さよならの会

☆上記の他にを行うもの・・・知育遊び、体育遊び、きょうだいグループ活動(3歳以上児)

リトミック(2歳児)、誕生日会、身体測定、防災避難訓練

定期的に行うもの・・・3歳～5歳児組のピクニック、4・5歳児組遠足(年1回)

4・5歳児地域行事参加、5歳児組姉妹園との交流

4・5歳児組高齢者施設訪問、健康診断(年2回春と秋)など

◎保育の特徴

- 少人数担当制……0、1、2歳児期はアタッチメント（愛着）がつく大切な時期です。アタッチメントとは、人間の子どもに生まれながらに備わっている生来的なものではなく、親や祖父母や保育者などの重要他者により、日常的に繰り返行われる世話を通して子どもの中に形成される「心理的な絆」のことです。当園の0、1、2歳児クラスではこのアタッチメントを大切に、年齢に応じて3～6名のお子様を特定の保育士が主に担当し、こまやかな対応を心がけています。
- コーナー保育……お子様は周りの環境や雰囲気にとっても敏感です。自分にとって居心地の良い場所かどうかということを感じ取ります。保育室は小さなお子様にとってはただ広くて落ち着かない場所になりかねません。そこで生活スペースを睡眠、排泄、食事のコーナーに分け、また、ままごとやブロック、絵本などいろいろな遊びのコーナーを用意し、保育室をいくつかに分けて家庭と同じような環境を目指しています。
- 食育……食は生命保持の源です。「食育」では、みずから食を選ぶ能力を含めた食の自己管理能力を育て、一人ひとりが自分の健康を守り、健全で豊かな食生活をおくる力を育てようとしています。毎日食べる物への感謝の気持ちや旬の食べ物から季節の移り変わりを感じる心、また五感の働きを通しておいしいと感じる感覚など、体だけでなく「心」も育てます。
- 体育あそび……3歳以上児は年齢別年間体育プログラムに基づいて体育遊びを行い、健康な体作りに取り組めます。園のホールでの跳び箱、マット、はしご、ステップ板（坂道）での運動、園庭での鉄棒や縄跳び等の体育活動、また近隣の公園のグラウンド等を使用して、ランニングやボール遊び等で思いきり体育遊びを楽しめます。
- 音楽活動……3、4、5歳児は年齢別年間音楽プログラムに基づいて、様々な楽器（鈴・カスタネット・タンブリン・トライアングル・小太鼓・大太鼓・木琴・鉄琴・鍵盤ハーモニカ・その他など）を使い活動します。さらに身近なものをヒントにリズム打ちをしながら、その心地よさを味わい生活の中で音楽に親しむ態度を育てます。また、友達と一緒に歌を歌ったり、音楽遊びをする中で、友達と協同することを楽しみます。季節の歌を通して、季節の変化を感じて自然や動植物への興味関心を持ち、探求心を高められるよう取り組み、豊かな感性や創造する力を培かえることを目標にしています。
- リトミック……2歳児組についてリトミックを月1回取り入れています。音楽に合わせて体を動かし楽しみながら、音を聴く力やリズム感を身につけ、音楽を総合的、体系的に学び育むことを目的としています。様々な音（強弱・長短・早遅・明暗等）を聴き、のびのびと体を動かし、音に合わせた表現を楽しみます。発達、年齢に合わせた年間プログラムを通して、歩く、走る、跳ぶ等の基本的な運動機能の発達と心身両面の成長を期待しています。
- 知育遊び……3、4、5歳児組について「SI あそび」を取り入れています。「SI あそび」はアメリカの南カリフォルニア大学名誉教授、元全米心理学会会長のJ. P. ギルフォード博士の「SI理論（知能構造理論）」に立脚した幼児教育プログラムです。急速に知能（情報を処理する能力）が発達する幼児期に意欲と好奇心を引き出しながら、幅広い思考力を育てることを目指しています。「SI あそび」の教材は年齢別年間単位の知育プログラムに基づいて編成されており、おおよそ週1回（40分程度）の設定保育です。「SI あそび」の研修を受けた保育士が担当いたしますが、保育士主導の保育ではなく、子ども主体の保育です。出来る出来ないという結果をいっさい問わず、子どもどうしを比べたり、競争させたりもしません。一人ひとりに合ったペースで進めています。
- 就学準備……北区の保幼小交流プログラム・保幼小接続期カリキュラムを基本にして、小学校への接続をスムーズに行えるよう指導計画に盛り込みます。また子ども達に培いたい『①生活する力 ②かかわる力 ③学ぶ力』を視野に入れた保育を計画的に行ってまいります。近隣小学校での年長児の給食体験をはじめ、様々な行事への参加等を通して交流を図ります。特に5歳児の10月以降を就学に向けての仕上げの時期と位置付け、2月以降は午睡のない生活に切り替えていきます。
- 姉妹園との交流会……5歳児が当園の姉妹園である南越谷保育園（埼玉県越谷市）、埼玉東萌保育園（埼玉県越谷市）、荒川区立南千住七丁目保育園、北区立西ヶ原南保育園との交流会を実施しています。それぞれの保育園の地域性や保育環境を生かした交流会を通して、社会性、協調性、自主性等が育まれることを目的として取り組んでいます。公共機関を利用して各園へ往來することも社会性を学ぶ良い機会と捉えています。

